

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴	
施設野菜專業經營 IV	人 3	アスパラガス		a 50	1. UVカットフィルム・防虫ネット・フェロモントラップなど耕種的防除対策により、環境保全型農業に努める 2. 共同選果施設利用
		耕地面積	水田畑	50 a	
経営目標	1 農業総収入	17,450 千円	4 1日当たり農業所得	9,658 円	
	2 農業経営費	12,440 千円	5 1人当たり年間労働時間	1,383 時間	
	3 農業所得	5,010 千円			

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格 千円	耐用年数	年間償却額 千円
建物・施設	ビニールハウス(新設) (ハウス本体工事、二重カーテン、妻換気・側換気(手動)、灌水パイプ込み)	5	連棟標準APハウス 1000㎡	1	48,084	14	1,717
	農機具倉庫	1	軽量鉄骨 20㎡	1	1,890	24	79
	作業及び収納舎	1	軽量鉄骨 60㎡	1	5,671	24	236
	計				55,645		2,032
農機具	管理機	1	6.2PS	1	278	7	20
	トラック	1	軽トラック	1	1,324	4	166
	動力噴霧機	1	可搬式	1	184	7	13
	計				1,785		198

3. 技術体系(アスパラガス・1年目)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(1年目) 耕うん 整地	耕起整地	9月～10月	トラクター	2	2	4	堆肥 10t 石灰質資材 リン酸質資材	深耕・排水対策が重要。 有機質・土壌改良資材の施用。 pH5.8～6.7に矯正する。
施肥	基肥施用	9月～10月	トラック トラクタ 管理機	2	2	4	10a当たり成分 N 32kg P ₂ O ₅ 33kg K ₂ O 27kg	Nの分施割合 基肥50% 追肥50% 追肥は月2回
	追肥施用 (翌年)	(翌年) 3月～8月		1	6	6		
ビニール被覆		9月～10月	トラック	4	9	36	ビニール式	
定植準備	畝立て 配管 マルチ被覆	10月～11月	トラック 管理機	2	6	12	ポリマルチ かん水チューブ 700m	
定植		10月～11月	トラック	2	10	20	セル苗	栽植密度: 畦幅1.5m×株 間25cm 10a当たり 2,700株 (春植えの場合は4月定植)
かん水	かん水	11月上～ 2月		1	50	50		適宜かん水し、うねの表面 が乾かないようにする。 (目安)収穫開始まで 5～10mm/7～10日 収穫期間中 5～10mm/2～3日
土寄せ 培土		4月下	トラック 管理機	2	4	8		覆土の厚さ 10～15cm
立茎	立茎 摘心	4月下～		2	12	24		茎径7～8mmの茎が萌芽し たら、株当たり5～6本残し 弱茎、細径等は切除し、以 降萌芽したものは収穫す る。
整枝誘引	支柱立て ネット張り 誘引、整枝	5月上～ 6月中	トラック	2	4	8		誘引は早めに行い、2段誘 引とする。 主枝の摘心位置1.4m、下 枝除去50cm
				2	12	24		
温度管理	保温、換気	11月～3月		2	33	66	遮光資材、 寒冷紗	春芽: 保温・すきま風対策 夏芽: 屋間の換気の徹底
	下温対策	7月～9月		2	2	4		
病虫害防除	薬剤散布 耕種の防除	3月～11月	動力噴霧機 トラック	2	11	22		県病虫害防除基準による 適正防除。
収穫・出荷 (夏芽)		5月下～ 10月	トラック	2	74	148		萌芽茎が27～28cmに なった時、地際から全部収 穫する。高温期は早朝、夕 方の2回行う。
計						436		

3. 技術体系(アスパラガス・2年目以降)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
施肥 (多年生)	冬肥施用	12月下旬～1月上旬	トラクタ管理機	2	4	8	10a当たり成分 N 44kg P ₂ O ₅ 38kg K ₂ O 20kg	Nの分施割合 冬肥20% 春肥・追肥80% 冬肥:保温開始前施用 春肥:緩効性肥料施用 追肥は8月～収穫終了まで月2回施用する(6回) N成分 2.4kg/1回 堆肥は通路施用
	春肥施用	4月		2	4	8		
	追肥施用	8月～10月		2	6	12		
収穫前準備	堆肥被覆	4月		2	4	8	堆肥、パーク堆肥等	土壌水分を安定させるため、うね上に堆肥、パーク堆肥等を被覆する。 覆土の厚さ 10～15cm
	土寄せ、培土	1月		2	3	6		
		4月	トラクタ管理機	2	4	8		
	配管	1月		2	3	6		
ビニール被覆	1月下旬～2月上旬		2	6	12			
かん水		1月～12月	かん水施設	1	62	62	かん水資材	適宜かん水し、うねの表面が乾かないようにする。 夏場は毎日実施し、水分ストレスをかけないように注意する。 収穫終了後も乾燥させないように適宜かん水する。
立茎	立茎摘心	4月～9月	トラクタ	2	17	34		萌芽した茎を徐々に更新して茎径10～12mmの勢いの良い茎を10～12本/m程度立茎する。1芽1本の立茎を原則とする。 以降、障害茎のみ更新する。
整枝誘引	支柱立て、ネット張り	5月上旬～6月中	トラクタ	2	8	16	支柱ネット	誘引は早めに行い、2段誘引とする。 主枝の摘心位置(高さ) 大型ハウス 1.4m 小型ハウス 1.2m 2次分枝は7月まで除去する。 下枝除去の高さ:50～70cm。摘芯作業は晴天日に実施する。
	誘引、整枝			2	18	36		
温度管理	保温、換気	1月～12月		1	58	58	遮光資材、寒冷紗	萌芽まで換気しない。萌芽後は25℃以上で換気。すきま風対策と昼間の換気の徹底。 妻面、側面換気と併せて行う。
	下温対策	7月～9月		2	2	4		
病虫害防除	薬剤散布 耕種の防除	4月～11月	動力噴霧機 トラクタ	2	14	28		県病虫害防除基準による適正防除。
収穫・出荷	春芽	2月上旬～5月	トラクタ	2	97	194		春どり収穫打切りの目安 1年生株:3月下旬(40日) 多年生株:4月下旬(60日)
	夏芽	6月～10月下旬	トラクタ	2	157	314		高温期は早朝、夕方の2回行う。
全刈り		12月下旬	トラクタ	2	8	16		茎葉が黄化した頃、地際部より刈取り焼却する。
計						830		

4. 品目の作付体系(○播種、△定植、□ハウス被覆、□収穫、×全刈り)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
アスパラガス (1年目)					○					□		
(多年生)												×

5. 作業別・月別労働時間(10a当たり時間)

1)アスパラガス(1年生)

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
定植準備																		4	4	12	12				56
定植																									20
かん水	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2	2	2	2	50
栽培管理									8	10	11	10	1	1	1	1	1								70
病害虫防除									2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22
温度管理	4	4	5	5	5	5																			70
収穫・出荷																									148
計	5	4	5	6	5	6	7	2	1	13	12	11	15	15	12	26	23	26	23	14	21	16	14	24	436
月計	14		17		20		16		38		42		64		75		58		54		24		14		

2)アスパラガス(多年生)

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
肥培管理	8																								28
収穫前作業	12								8	8															40
かん水									2	2	2	1	2	2	3	4	4	3	2	3	2	2	2	2	62
栽培管理									3	3	4	20	10	9	7	7	2	2	2	2	2	2	2	2	86
病害虫防除									2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	28
温度管理									5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	62
収穫・出荷									8	20	32	32	12	4	7	15	22	22	30	30	25	23	14	15	508
全刈り																									16
計	20	0	0	14	5	15	27	37	39	42	39	42	38	38	19	30	29	34	36	37	41	41	40	38	830
月計	20		34		103		119		87		99		119		111		81		37		2		18		

6. 施設野菜専業経営Ⅳ 総労働時間

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
総労働時間	100	0	0	70	25	75	135	185	195	210	195	190	190	190	185	205	205	200	190	165	155	155	85	60	4150
うち家族労働	100	0	0	70	25	75	135	185	195	210	195	190	190	185	205	205	200	190	165	155	155	85	60	40	4150
うち雇用労働																									0